



▲アジア文化会館で(本人：最後列、向かって左から2人目)

日本の社会に入ることには難しい

社会科学研究所
博士課程前期一年
◆ ラシッド・アリ・ハッサン

日本で勉強することを選んだ理由

日 本で勉強することを選んだ理由は二つある。本で勉強することを選んだ理由は二つある。一つは、日本社会は安全だから日本で安心して勉強ができるということ。私にとってこれは大切なことである。

二つ目は自分の専門が国際金融論であること。というのは東京外国為替市場が大きな国際マネタリーセンターになっているので、当然のこととして日本で勉強する必要があるということなのである。

私は、今ではもう二年半ぐらい日本に住んでいるのだが、日本人の考え方や日本の文化についてまだ分からないことがたくさんある。それは、日本の社会に入ることがとても難しいことだということの意味する。それは私の悩みである。なぜならば、社会の考え方がわからない場合は、お互いに誤解する可能性があるからである。

研究室の印象

広 島大学での勉強に関しては、学生が自分で科目を自由に選択していき、自分の専門と直接関係のない科目も選ぶことができる。このことについて、私は、最初は批判的に見ていたが、視野を広くするためには直接関係のない科目を取ることも重要だと理解できた。

大学の先生がたはとても優しい。学生と一緒に笑ったり、食事したり、カラオケへ行ったり、ということをよくされる。イラクではそういうことは全くない。また、広大の経済学部はレベルが高いと思う。

イラクの大学あるいは他のたくさんの日本の大学と比べて、学部生に対する授業のレベルは高いと思う。さらに、私にとってはセミナーの方が驚きだった。先生がたは、セミナーの中でもとても厳しい。いつでも学生に詳細なことを尋ねられる。そういうふうには先生方が教えてくだされば、学生の研究の能力が上方に誘導される。ただ私にとっては、授業は早く進み過ぎる。それが私にとっての大問題である。

西条への移転

来 年は経済学部が西条へ移転することになっているが、新しいキャンパスも不満があると思う。例えば、院生の研究室は大小四つしかないことだ。ということは、研究室は混んでいるから引越しをしなければならないと思う。そうしたら、向こうで暮らすことはとても不便だし、淋しくなる。

広大は元の場所と離れ過ぎたと思う。新しい状態に慣れなければならないのですが、目標を目指して頑張りたいと思います。

プロフィール

◆一九六〇年 バグダッドに生まれる

◆一九八二年十月 バグダッド大学経済学部卒業

◆一九八八年十二月 バグダッド大学大学院修士課程(国際関係論)修了

◆一九九一年七月までラシッド銀行に勤務

◆一九九一年十一月 来日

◆一九九四年四月 広島

大学大学院社会科学研究所博士課程前期経済学専攻入学



今日は! سلام عليكم سارامون アライコン